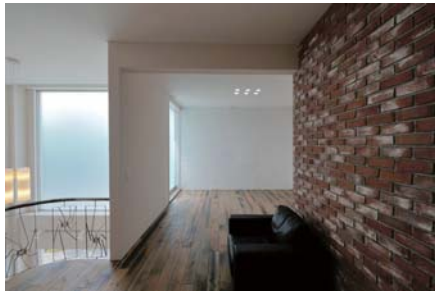




ラウンジから STUDIO-A を見る。西の自然光が入る。



STUDIO-B。ここも自然光が入る明るいスタジオ。



同じく STUDIO-B。アンティーク調レンガとホワイトレンガとの対比。



通常の撮影にも用いられる STUDIO-C。ホワイト一色の素材でまとめられている。

山形県酒田市中心部にほど近い敷地に建つフォト・スタジオの改修工事です。

既存建物は築 35 年以上経過した鉄骨造 2 階建て。先代から引き継いだスタジオは、途中改修工事をしたとは言え、現代的な感覚とは大きなズレのあるデザインと感じられました。また従来は、外光の入らない閉じたスタジオでの撮影が常識と考えられていましたが、現在はスタジオ内にも自然光を入れ、よりナチュラルな環境での撮影へとシフトしているようです。

そのようなご要望にも対応すべく、オフィスやワークスペース・エクステリアも含めて全面的にリノベーションすることとしました。様々な方位から自然光が入るように開口部を新たに設け、それぞれに撮影スペースを配置しました。素材も古びた、あるいは古びた雰囲気を持つものを選択し、ナチュラルで親しみやすいインテリアとしています。

外部は主に道路に面する西側ファサードを中心に形状を整え、大きな面の外壁は内部と同素材のレンガタイル、1 階部分は無節のベイスギ張りりと塗壁仕上げとし、エントランス回りをデザインしています。



エントランスホールを兼ねるラウンジ。お客様との打合せやウエイティングスペースとして利用する。正面奥は衣裳室とフィッティング。右手に STUDIO-A。アンティークドアとアンティーク風フローリング。



西側ファサード。インテリアと同素材のレンガ壁。1 階部分は塗壁とベイスギのコンビネーション。夜間は LED 照明で照らし出される。

ご報告

□秋田県住宅省エネルギー施工技術者講習会 終了いたしました。

地域の木造住宅生産を担う大工技能士等、断熱施工にかかわる方を対象とした『住宅省エネルギー施工技術者講習会』を開催します。この講習会は、平成 32 年度までに新築住宅において省エネルギー基準の適合義務化が予定されることから、全国で最終的に 20 万人の大工技能者の養成を目標として実施するものです。

当日、20 数名の施工者様のご出席をいただきました。私が担当させていただいたのは、
①住宅の断熱施工 充填断熱・外張り断熱
②模型解説 実物大部分模型の開設
③省エネ基準と関連制度の解説 でした。

極めて基本的・基礎的な内容ですが、実際の現場でも基本的な事を丁寧に施工する重要性を身に浸み感じていきます。このような機会に、しっかりと身につけていただきたいと思います。



断熱施工モデルの実物大部分模型。左右で、充填・外張りと分かれており、それぞれの特徴的な部分がカットモデルとして示されます。断熱・気密・気流止が主な施工ポイントになります。



ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所
仙台オフィス
TEL: 022-739-8931 FAX: 022-739-8932
秋田オフィス
TEL: 018-831-4315 FAX: 018-831-4316
HP: <http://www.issei-design.com/>
Blog: <http://www.issei-design.com/blog/>
Mail: info@isei-design.com

■特集 "STUDIO SAITO RENOVATION"

>> 小野の日常

こんにちは。スタッフの小野です。皆さん秋を満喫しておりますでしょうか？台風等多くて大変ですが、秋は空と空気がきれいで、どこかに出かけたくなります。私は基本ひきこもりなので、これからはアクティブにいろいろと思っています。ということで、この前久しぶりに蔵王のお釜に行きました。季節と天候によって刻々と色をかえる五色沼・・・とてもきれいでした。晴れてくれてよかったです。自然ってすごいなあと感じました。そして、人生初の乗馬にも挑戦してきました。最初は、振り落とされたらどうしようかとビビっていましたが、すごく大人しくて、こんな私でも乗せて下さいました(笑)やりたいことがまだまだあるので、沢山消化できたらいいなと思います。話は変わりますが、私は山形出身で現在非常に芋煮が恋しいです。里芋なかなか手に入りませんが、自分で作ってみようと思う今日この頃です・・・(笑)



>> 美術館めぐりの旅③

こんにちは。菅原です。肌寒い季節となりました。前回、前々回に続き、美術館の紹介をいたします。群馬県にある磯崎新設計のハルミュージアムアークです。敷地が広いので、屋外オブジェが多く、真っ赤なハートが入り口でお出迎えしてくれます。右上の写真です。作品 1 つに対し 1 部屋という感じで、シックな黒の外観とは対照的に中は真っ白です。窓はトップライトのみですが、とても明るく開放的な空間となっています。隣のカフェも同じデザインで、カフェから見ると景色も素敵です。続きまして、ヨコシマコト設計の富弘美術館です。外観は四角い建物ですが、中はまるい部屋がいくつも繋がっています。模型を見たと納得できますが、順路通りに回っていても迷子になりそうな面白いプランでした。さて、美術館紹介コーナーは今回で最後になります。美術館建築は、建築家の個性が多彩に発揮される建物でした。



>> 編集後記

みなさん、こんにちは。残暑もほぼ終わり、爽やかな秋 10 月を迎えました。まだ晴れば暑く、逆に朝晩は肌寒い日もあり、日によって、あるいは 1 日の気温差が大きく、体調管理にも気を使います。いかがお過ごしでしょうか？10 月、区切りの季節です。学校では後期授業が通常通り始まり、学生たちも新たなスタートを切りました。専門学校の学生はあと半年で卒業です。卒業設計に、就職活動に、それぞれ全力で取り組んでいただきたいと思います。このところ、高速道路は順調です。お盆の時期には通行止や酷い渋滞にも遭いましたが、それ以来(偶然にも?)あまりストレス無く走れています。ただ、ニュースでは悲惨な事故も報道され、人ごとでは無いと思っています。追越し車線に車が止まっていたり、道路上に人がいるとは思っていませんので・・・命を守るとっさの正しい判断力が必要です。ついこの間まで夏だと思っていましたが、雪の季節も近づきつつあります。今年はスタッフレス買い替えなくては、ますます安全運転で仕事に向かいたいと思います。それでは次回どうぞお楽しみに。



少し前の写真ですが、秋田建築デザイン専門学校では、大規模改修+耐震改修工事が行われています。このように鉄骨造のプレースを RC 構造物の中に取付けて耐震性を向上させます。